



## おしゃべり

### ゆっくりと日常に・・・

なんとなく春からの記憶が薄くなりがちな2020年。ただようやく少しずつですが日常のペースを取り戻し始めた方が多いのではないのでしょうか。もちろん引き続き十分な用心が求められる毎日ですが、少しだけ明るさが増したような気がしますね。

今回のように全世界で共通の問題を抱えるというのは稀なことですよ。「どこかの国で何か起こってるらしいよ。大変だね」ではなくて、遠く離れた国の友人たちとも「一緒にがんばって乗り越えようね」と励まし合えることに一種の不思議さも感じました。今後、感染自体は行きつ戻りつしながらも次第に収まって行くことと思いますが問題は山積みです。焦ることなく1つ1つ、順番に解決していきけるといいなあと思います。焦って空回りをして疲れてしまうだけです。少し遠回りをしていいから、ちゃんと歯車の歯が噛み合うような毎日を過ごせるといいなあと思っています。「急がば回れ」。



## ひと手間のおしゃれ

### バングラデシュより

私はもともと手芸が好きで、刺繍や洋裁、最近ではマクラメ編みのブローチを作ることにどっぷりの日々です。そんな私が先日「おっっっ！それを見せてください」と思わず声をかけてしまったお客さまがいらっしゃいます。なんと布の左半分に刺し子をしたそれはそれは素敵なマスクをしていらっしゃったのです。聞けばバングラデシュで作られたものとか。フェアトレードを実践している会社の販売サイトで購入されたということでした。3枚で1500円程度とおっしゃっていましたから、それほど極端に高い値段でもありません。そしてその方が販売サイトについて詳しく教えてくださいましたのですが、私自身は「自分で作りたい！！！」という気持ちに取りつかれてしまっていて、その方にも「ふふふ」と笑われてしまいました。当面、布マスクは十分に足りるほど作ってしまったのですが、今後も作り足すことがあれば是非ともひと刺しして、ひと手間をかけたものを作りたいと思っています。バングラデシュの作り手さん、素敵なヒントをありがとう！



## 今月のマフィンより

### かぼちゃチェリー

ワタクシはファッションについて「美的センス」というものを全く持ち合わせない人間で、「あるものをあるがままに使う」ということはできるのですが、美的なセンスを加えることが非常に苦手です。そんなワタクシにしては珍しく、このかぼちゃチェリーマフィンは、「何やら色的に美しいではないの？」「センスのいい人が作ったみたい」と思えるものに仕上がっています。しかもかぼちゃもチェリーもしっとり具材ということで、いつものマフィンとはまた一味違った食感です。ただ弱点としては、そのしっとりした性質ゆえに、壊れやすさがあります。このマフィンを手にされたら、そっと優しく、ほわほわほわっと扱っていただくのがよからうかと思います。合わせる飲み物として、さすがかぼちゃ生地。牛乳との相性は抜群ですので、ぜひ一緒に召し上がってくださいませ。